２０２０年度「土屋雷蔵賞」が選定されました。

記者発表資料

2020年度の「土屋雷蔵賞」が、本日の幹事会において選定されました。2020年11月17日から20日にわたりWeb発表で行われた土木学会関東支部新潟会主催の「第3８回研究調査発表会」にエントリーされた7部門9６名の発表者（評価対象者）の中から、以下の４名の方が受賞されましたので、お知らせします。

土屋雷蔵賞は、産・官・学の若手研究者・技術者の調査研究を推進・奨励し、地域を支える土木技術者を育成することを目的として、研究・調査の質、スライドの出来、説明技術等が優秀な講演者を対象に表彰しているものです。

第Ⅰ部門　「オーステナイト系およびリーン二相系ステンレス鋼製T形断面柱の圧縮強度特性」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　井﨑　　茜

（長岡工業高等専門学校）

第Ⅱ部門　「初期に設定する底面形状が自発的な河床波の発生・発達と流れに及ぼす影響」　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 黛　　由季

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（新潟大学）

第Ⅲ部門　「表層地盤特性が地震被害におよぼす影響に関する検討」　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　髙田　　光

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　（長岡技術科学大学）

第Ⅴ部門　「塩害劣化コンクリート橋りょうにおける塩害対策工法の評価と検討」　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　小林絵理奈

　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（東日本旅客鉄道株式会社）

新潟会ホームページ

<http://jsce-niigata.com/>

　　　　　　　　　　　 　　　　　　毎日の暮らしを支える大切な土木構造物が52施設！！

「にいがた土木構造物の機能構造物めぐり」としてホームページに紹介しております。

[問合せ先]

公益社団法人 土木学会関東支部新潟会（担当：本間）

電話　025-285-8886

新潟市中央区新光町６番地１（興和ビル７階）